

平成24年度 第1回 機能性材料・製造プロセス研究会 開催のご案内

主催 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
共催 日本大学工学部

今回の研究会では、地熱、地中熱の再生可能エネルギー開発への応用をテーマに、独立行政法人産業技術総合研究所から講師をお招きするとともに、日本大学工学部から地中熱利用とその展望等についての講演を下記のとおり実施いたします。どなたでも聴講できますので、皆様是非お誘い合わせのうえ御参加ください。

記

日時 平成24年 8月 28日(火) 13:30~16:00
場所 ビューホテルアネックス 3階 「雲水峰」(郡山市中町 10-10)
参加費 無料

参加申込：裏面の参加申込書にご記入のうえ、FAX又はメールにてご返送ください。

内容

コーディネーター

日本大学工学部 生命応用化学科 教授 理学博士 西出 利一 氏

演 題 1 『使おう地熱エネルギー』

講師:(独)産業技術総合研究所 地熱資源研究グループ 主任研究員 安川 香澄 氏

概要

- (1) 地熱発電の特徴(安定電源、低い二酸化炭素排出量、日本に豊富な再生可能エネルギー)
 - (2) 地熱発電のしくみ(地上の発電設備、地下の地熱貯留層)
 - (3) 技術的課題(地下探査、温泉や環境との共生など)
- さらに将来の地熱エネルギーとして期待されているEGS(地熱増産システム)を紹介し、また、熱エネルギーを直接温熱として使う地熱直接利用、地熱資源を観光資源として用いるエコツアーの可能性にも触れます。

演 題 2 『省エネルギーの切り札 地中熱利用システム』

講師:(独)産業技術総合研究所 地下水研究グループ 主任研究員 内田 洋平 氏

概要

地下20mから100m程度までの地中の温度は、外気温の影響を受けず年間を通してほぼ一定を保っており、夏は外気より冷たく、冬は外気より暖かいという外気温との温度差が生じます。この温度差を利用し、地中熱をヒートポンプの熱源として利用するものを地中熱利用システムと呼び、冷暖房などに活用することにより、消費電力の大幅な削減、二酸化炭素の排出量削減、ヒートアイランド現象の緩和等への貢献が期待されています。本講演では、地中熱システムの原理、エネルギー対策としての意義、福島県における地域振興策としての可能性について紹介します。

演 題 3 『浅部地中熱利用とその展望 安全で快適なコミュニティ形成を目指して』

講師:日本大学工学部 機械工学科 准教授 伊藤 耕祐 氏

概要

日本大学工学部では、ごく浅い部分の地中熱を「浅部地中熱(せんぶちちゅうねつ)」と呼び、その特徴を活かした安価で効率の良い熱利用システムの実用化を目指しています。特に震災後、本プロジェクトは福島県復興計画の一部と位置付けられ、産官学が連携して研究を進めており、建築や土木の専門家達とも連携し、浅部地中熱を利用した快適な温熱環境の研究や、災害に強いコミュニティ形成をも視野に入れた研究も行っており、今後の展望も含めて紹介します。

FAX : 024(947)4475

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 行

申込期限 8月21日(火)

平成24年度第1回
機能性材料・製造プロセス研究会 参加申込書

| | | | |
|-------------|---|-----|--|
| 企業・ 団体等名 | | | |
| 所在地 (住所) | 〒 | | |
| 電話 | | FAX | |
| E-Mail | テクノ・ニューコメメールマガジンの配信について 希望する 希望しない 購読中 | | |

| | 部署名 | 役職 | 氏名 |
|---|-----|----|----|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |

個人情報の取り扱いについて

お客様から頂きました内容の個人情報は、今後当財団からのサービス情報等のご案内等のみ利用させて頂き、他の目的には利用いたしません。また、第三者には、開示いたしません。

お客様から頂きました個人情報に関して、今後、お客様からのご要望で、内容確認、修正、更新、撤回、削除の必要性が生じた場合は、お客様ご本人からのご連絡を頂くことにより、適宜対応させて頂きます。

【事務局/お問い合わせ先】

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山市南二丁目52番地 ビッグパレットふくしま3F
TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475
E-mail techno@nm.net6.or.jp